

定例公安委員会の開催状況について

令和4年5月26日（木）に、第15回山形県公安委員会定例会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

1 県監査委員による警察署に対する定期監査の結果について

県監査委員による警察署に対する定期監査の結果について報告があった。

委員のコメント

- 注意事項の再発防止は徹底しなければならない。
- 注意事項はあったが、今後も引き続き適正な内部監査に努めてほしい。

2 果樹園における農作物の盗難被害防止対策について

果樹園におけるさくらんぼ等農作物の盗難被害防止対策について報告があった。

委員のコメント

- 生産者自らの警戒の強化等について関係機関と認識を共有して、被害防止対策に取り組んでほしい。
- 難しい対策を強いられており苦労は多いと思うが、被害防止に万全を期されたい。
- J Aとは生活安全以外の部門を含めて連携を密にしている。その連携により創意工夫を凝らした対策をとり、さくらんぼ盗難被害を防止するとともに、発生した場合には検挙して実を結ぶことを期待している。

3 東北管区内各県高速隊、ネクスコ・パトロール合同受傷事故防止訓練会の実施について

本年5月19日（木）、東北中央自動車道かみのやま温泉インターチェンジ内において実施された、東北管区内各県高速道路交通警察隊、(株)ネクスコ・パトロール東北との合同受傷事故防止訓練会について報告があった。

委員のコメント

- 東北中央自動車道の延伸など高速道路の整備が進んでいる。受傷事故防止のために有意義な訓練である。継続して実施してほしい。
- 実際の事故捜査現場ではネクスコパトロールとの役割分担が大きな鍵を握っている。他県との合同訓練も重要なので今後も反復して訓練を実施してほしい。
- 県境での活動も含めて警察と他の機関が合同で活動する場合は、双方のコミュニケーションを図ることが大事である。このような訓練を生かして現場で機敏に対応できるよう引き続き練度を高めてほしい。